

神和台

平成5年3・31

第44号

自治会報告

平成5年3・31

第44号

(3) 斜面の草刈りを年2回になるよう申入れてほしい。

市としては、草刈りは年1回しか行わない。(全部で6300㎡あります)もう1回は、自治会として予算をとって考えていくたいと思います。

(4) ゴミステーションの水道の問題

昨年実施しましたアンケートにて寄せられた質問と「神和台」43号での提案について、交渉した結果を報告します。

- 12月12日 秋の日帰り旅行の会計報告と反省。
- 専門部の報告
- 2月13日 第九回役員会 役員改選と総会までのスケジュールについて
- 2月13日 第十回役員会 名谷小学校120周年記念行事の件
- 3月6日 平成4年度各専門部の活動と会計報告
- 3月14日 専門部の報告 新街区委員説明会
- 新年度役員選出

(2) 道路・石段の補修について 気付いた箇所は、会長、副会長に連絡してください。土木事務所に連絡します。入口近くの道

(5) テレビの映りが悪いという意見について 全戸調査しないと分かりませんので、来年度に持ち越し検討していきたいと思います。

自治会より

本当にご指導ありがとうございます。

自治会長 武田正勝
平成4年4月、自治会長を引受けさせて頂きまして早や一年がきました。最初不安がいっぱいでしたが、役員、街区委員の方々、そして自治会員の皆様のご協力で、無事一年が過ぎようとしています。

「一年振り返って」

一年を振り返り、恒例の盆踊り、秋の日帰り旅行など神和台の親睦も毎年高まっていると思います。去年10月より工事が始まった学園東町へ通じる歩道も、4月に開通の予定です。一方、問題点として

路上駐車、犬猫の扇問題などが



神和台の子供たちが通っている名谷小学校は、今年(平成5年)学校創立120周年を迎えます。明治六年の創立は、垂水・舞子両小学校と共に、垂水区内では、一番長い歴史を持つ学校になっています。この120周年を祝うため、昨年、記念行事の準備会が発足、PTA・地域の代表など、多くの方が参加して、学校側と協議して計画を進めています。現在までに、記念誌の発行、新名谷音頭の製作、同窓生名簿の整備など、具体的な作業も詰めの段階に入っています。また、メインとなる記念式は、例年行われている春の運動会を記念運動会として、5月30日(日)に行われることが決まりました。

120周年のとき(昭和48年)には神和台地区はありませんでした。110年目(昭和58年)には体育館が完成しています。10年後の130周年(平成15年)になれば、明石架橋もすでに完成し、名谷地域は今よりもさらに大きく変貌しているものと思われます。子供たちに120周年の「今」を思い出として少しでも残してやりたいものです。

神和台自治会としても、名谷小学校創立120周年記念事業に、できるかぎりの協力ををしていきたと考えています。

一一〇歳の名谷小学校

ボランティア活動を終えて

昨年末、寒さの為に多数の人が命をなくしているというユーロスマリアへ、防寒着や毛布を送ろう

という事で、神和台の皆様にお願いをしました所、予想以上に多数の方々の協力を頂くことが出来ました。十一月二十四日から二十七日の三日間で100人近くの方が着類を持ち寄って下さいました。

毛布約50枚、外着30枚、セーターやパンツ20枚、ズボン140枚、セーラー服50枚、その他帽子、手袋、マフラー等、引越用ダンボールに三五個、2トン、トラック1台分ありました。運送に付きましては、神和台に在住の松本様に大変便宜を計って頂き、西宮の「日本救護衣料センター」へ運んで下さいました。このセンターで仕分けをしてから海外へ送るそうです。

活動を終えて感じた事は、こんなに多くの方が善意を寄せて下さるのに、日本のボランティアが非常に遅れているのは、何故でしょうか。大きな組織が無いので活動が小規模になっているのが現状です。非常に残念な事です。

年々の瀬の忙がしい時期に、多数の御協力本当にありがとうございました。心より感謝致します。

最後に、年末、年始と重なって長期間集会所に荷物を置かせて顶きました。心より感謝致します。

所を利用された方々に、大変不便をお掛けした事を、お詫び致しま

俳句と短歌

俳句

白菜を漬けて帰郷の孫を待ち

旧友を偲びて質状の筆をとる

老の身は足る事を知り春迎う

福本真一様 3-19-5

曾木秀機様 3-17-6
宇和田則様 3-6-5
熊谷保高様 3-19-5
七九二一〇二九四
七九六一〇七〇一
七九一五九四九

曽木秀機様 3-17-6
宇和田則様 3-6-5
北村勝也様 3-12-11
長男 須也くん 4年12月25日
計 説明

葛野信枝

夜行バスのテールライト遠ざかる
神よ守り給え いとしき者を

葛野信枝

短歌

満面に喜びあふれ少年の
見上げる空に洋風高し

この冬の最低気温告げる朝
通勤電車は氣ぶくれの人

野呂次夫

鄙にての手作り羊羹贈られて
食めば馥郁あづきの香する

泉 住恵

火も水も果てなき道の罪の跡
愛は戯画ほのかな色に揺れ動く

志水様方

いつも古稀喜の字祝吾今寿
みんなすこやか父母に感謝す

北浦 貞様

鬼籍より来るよしもなき年賀状
私は待つらし心淋しき

小旅行吾に贈らんともくろみし

三娘のなさけこよなくうれし
皇太子御妃決定おめでたく

民一斉におしあわせ希う

ラジオをば細かく合せねんごろに
吾が枕辺に置く孫のやさしさ

小林信子

俳画または水墨画を
教えて下さい!!

老人会で月に一回俳画を楽しんでいましたが、昨年先生が亡くなられました。神和台でどなたか俳画か水墨画を教えて下さる方は、いらっしゃいませんか? いらしゃいましたら左記迄お願いいたします。

三丁目一〇一一六

葛野信枝

広報部員雑感

しました。

「一番良かったのは、新しい友達ができたことね。」

「越して来て間もないのに、自治会のことがよくわかりました。」

「ずっと住んでいたけれど、自治会は他人事のように思っていたので、これを機に少しは関心を持ちました。」

「気のりしなかつたけれど、やらなければならぬのなら——とアンケートもしてみましたね。」

「とても喜んでくださった方もありました。意見も沢山書いてくださいました。けれども積極的に行動して実行に移そうとする人はほんの僅かですね。」

「ミステーション掃除後の水についても、何も意見がなく、困っているのは、2・3人だけだったのかと思いたりますね。」

「そうじゃないと思いますよ。誰かがしてくれるので待つて、してくれるのは嬉しいけれどね」

「それがしてくるのを待つて、してくるのは嬉しいけれどね」

「街が出来上がる迄の今までの自治会の役員の方々は大変だったと思いますよ。」

「街が出来上がる迄の今までの自治会の役員の方々は大変だったと思いますよ。」

「丁度曲り角にきている時ですね。」

「来年度の役員さんには是非自治会の簡略化にとり組んでもらって街区委員がまわってきた時に、苦にならないようにして欲しい、というのが全員の意見でした。4人集まってこのような意見交換ができるよう、今年の広報部は、とてもチームワークの良い集まりでした。」

「一年間原稿をお寄せいただきました。また、どうも有がとうございました。(広報部員一同)」

とや、取り上げてくれたことを知らせる役割ですね。」

「今役員の決め方では、半分位はくじ引きで決めるので、何事もなく一年が過ぎれば……といふ気持ちがあるのはしようがないですね。」

「街も整い、成熟してきたので、もっと自治会を簡素化してもいいのではないかでしょう。例えば広報部でいえば、総務部の中に組み入れては?」

「そうですね。現状では紙面をうめるのに苦労してるものね。」

「自治会のことだけを知らせるのなら今でもして、いるように必要なときにお知らせを配るのでいいのではないでしょうか。」

「今のところ、この街で大きな問題も殆んどなくなってきたからいいのではありますか。」

「今年のところ、この街で大きな問題も殆んどなくなってきたからいいのではありますか。」

「今年のところ、この街で大きな問題も殆んどなくなってきたからいいのではありますか。」